

ねりまく たんじょう
練馬区が誕生するまで



ねりまく たんじょう くやくしょ
「練馬区が誕生したころの区役所」
ねりま しりょうかん
「練馬わがまち資料館」より

- 1932（昭和7）年に東京市ができたとき、練馬の地域は板橋区の一部でした。
- そのころの板橋区はとても広がったので、練馬に住んでいる人々は区役所に行くのにも時間やお金がたくさんかかり、不便でした。
- そのため、板橋区とはべつに練馬区を作ろうという運動が起こり、 1947（昭和22）年8月1日、練馬区が誕生しました。
- 最初の区役所として、開進第三小学校の講堂が使われました。

もっとくわしく知りたい人へ

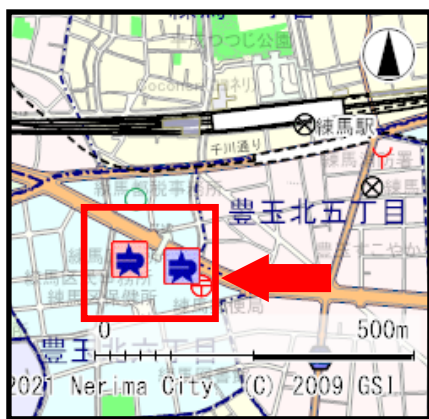
1923（大正12）年の関東大震災で、被害にあった人々が各地に移り住み、人口の分布が変化していきました。そのため東京の区画が整理され、1932（昭和7）年、35区からなる東京市が誕生しました。

当時、練馬の地域は板橋区に編入され、区役所も板橋にあったので、練馬に住む人々は区役所に行くのにも苦労していました。

1944（昭和19）年に練馬区独立に向けた「練馬区設置期成会」が結成されましたが、戦時中のため、独立は実現しませんでした。

1947（昭和22）年、戦後の復興のなかで東京都（東京市が東京都になったのは昭和18年）は35区から22区に整理されましたが、練馬はまだ板橋区のままでした。同じ年の7月、独立促進大会が開かれ、さらなる独立運動が続いた結果、板橋区議会によって満場一致で独立が認められ、8月1日、練馬区が誕生しました。

ねりまくやくしよ ちす
【練馬区役所の地図】



ねりまく
練馬区「ねりまっぴ」より

げんざい ねりまくやくしよ
【現在の練馬区役所】



ねりま しりょうかん
「練馬わがまち資料館」より

さんこう ほん 【参考にした本など】

ねりまくし げんせいへん ねりまくしへん きょうぎかい しょうわ ねん
『練馬区史 現勢編』練馬区史編さん協議会 昭和56年

ねん うつり か ねりまく へいせい ねん
『ねりま50年の移り変わり』練馬区 平成9年

わたし ねりま れいわ ねん ねりまくきょういくいんかい ねん
『私たちの練馬 令和2(2020)年』練馬区教育委員会 2020年

かんしゅう かつらぎあきひこ きょうとしが
監修／葛城明彦（郷土史家）

へんしゅう はっこう ねりまくりつしゃくじいとしゃかん おおいずみとしゃかん せぎちやうとしゃかん ぬくいとしゃかん みなみたなかとしゃかん
編集・発行／練馬区立石神井図書館、大泉図書館、関町図書館、貫井図書館、南田中図書館

はっこうび れいわ ねん がつ
発行日／令和4年1月